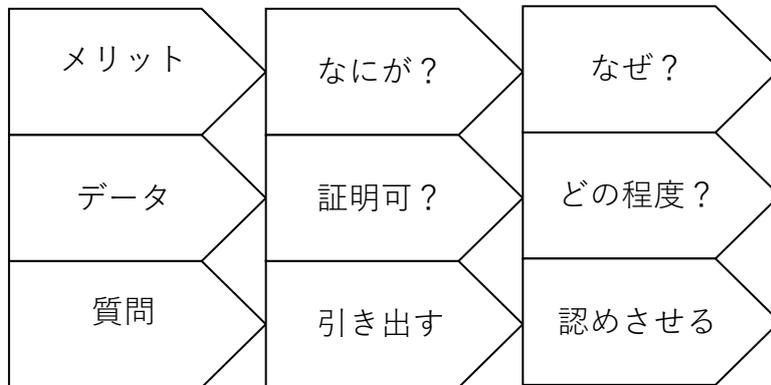


活動：主張に対する質問からアタックを構築する練習を行う。このとき3つの視点、質問の視点、型を用いる。

I 3つの視点で考えよう！

1. Not true 「～そうではない」「～いつもそうではない」「～それは疑わしい」
相手の根拠の矛盾点や問題点を指摘して、その主張は成り立たないと主張
情報や証拠の不足を指摘して、相手の主張は成り立たないと主張
別の根拠を持ち出して、相手の主張は誤りであると主張
2. Not important 「～それは重要ではない」「～それは深刻ではない」「～影響が小さい」
相手の主張は認めるが、その重要性がとるに足らないと主張
3. Not unique 「～現状の改良で同じ効果が得られる」「～現状の改良で対応できる」から理由と言い難い
相手の主張は認めるが、現状の改良で同じ効果が得られると主張

II 質問の視点を活用しよう！ : 相手の立論（意見・理由・具体例）に対して質問する視点



III 相手の立論に対する理由と具体例を加えたアタックにしよう！

- EX. NT = 「あなたは...と仰いましたが、そうではありません。なぜならば...」
 NI = 「あなたは...と仰いましたが、それは重要ではありません。なぜならば...」
 NU = 「あなたは...と仰いましたが、それは現状の改良で対応できます。なぜならば...」

例題：日本を一年中「夏」か「冬」どちらかにするならば、「夏」にするべきだ。

主張	質問	アタック
意見：賛成 理由： 夏はアイスクリームが食べられるから。	NT	NT
	NI	NI
	NU	NU
具体例： 夏のおやつといえば、アイスクリームだ。		

○論題：高校生の夏休みの宿題をなくすべきである

主張：A F F	質問	アタック
意見：なくすべき 理由：	N T	N T
具体例：	N I	N I
	N U	N U

主張：N E G	質問	アタック
意見：なくさない 理由：	N T	N T
具体例：	N I	N I
	N U	N U

<感想>